

# 東部保健所 別府地域(別府市・杵築市・日出町)感染症情報

令和7年第16週(4月14日～4月20日)

## ・県内で3年ぶりに麻疹(はしか)の報告がありました

麻疹は麻疹ウイルスによっておこる感染症で、空気感染、飛沫感染、接触感染で人から人へ感染します。潜伏期間は7～10日(最大で21日間)で、感染力は非常に強く、抗体を持っていない人が麻疹患者と接触した場合、ほぼ100%感染するといわれています。高熱、全身の発疹、鼻水や咳などの症状を特徴とし、肺炎、脳炎等を合併して重症化することもあります。

麻疹は空気感染するため手洗いやマスクのみでは予防できず、予防接種が最も有効です。定期予防接種(第1期:1歳児、第2期:小学校入学前の1年間)がまだの方は、予防接種を受けましょう。また、海外へ渡航される方は自身の接種歴を確認し、未接種の場合は予防接種を受けることを検討しましょう。

## ・百日咳に注意しましょう

全国的に百日咳の報告数が増加しており、全国の1週間当たりの報告数が過去最多になっています。百日咳は百日咳菌によっておこる感染症で、飛沫感染や接触感染で感染します。潜伏期間は7～10日で、けいれん性の激しい咳発作を特徴とする呼吸器感染症です。いずれの年齢でもかかりますが、多くは小児が中心で、特に乳児では重症化し肺炎や脳症を合併することもあるため注意が必要です。

予防には手指消毒、手洗いの励行、咳エチケットの徹底など基本的な感染対策が大切です。また、百日咳の重症化を防ぐためには予防接種が非常に重要です。定期予防接種(生後2月以降に計4回)がまだの方は、早めに予防接種を受けましょう。

(第16週)

疾患名 年齢	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻疹(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
0歳		0.10	0.67		0.17	1.33				0.33							
1～3歳	0.10	0.20	0.17	0.33	0.83	9.83		0.17		0.17							
4～6歳				0.50	1.67	9.50						0.17					
7～9歳	0.10			0.17	0.83	5.67											
10～14歳	1.40				0.83	2.83	0.17										
15～19歳		0.20														1	
20歳以上	0.10	1.50			0.17	0.33										1	
今週	1.70	2.00	0.83	1.00	4.50	29.50	0.17	0.17		0.50		0.17				2	
70歳以上(再掲)		0.70															
先週	1.40	2.80	1.00	0.67	7.50	23.17				0.83			0.33			2	

指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上しています。(定点医療機関数;インフルエンザ/COVID-19定点 10、小児科定点 6)

### 疾患ごとの警報・注意報の基準値

※単位は定点あたり報告数

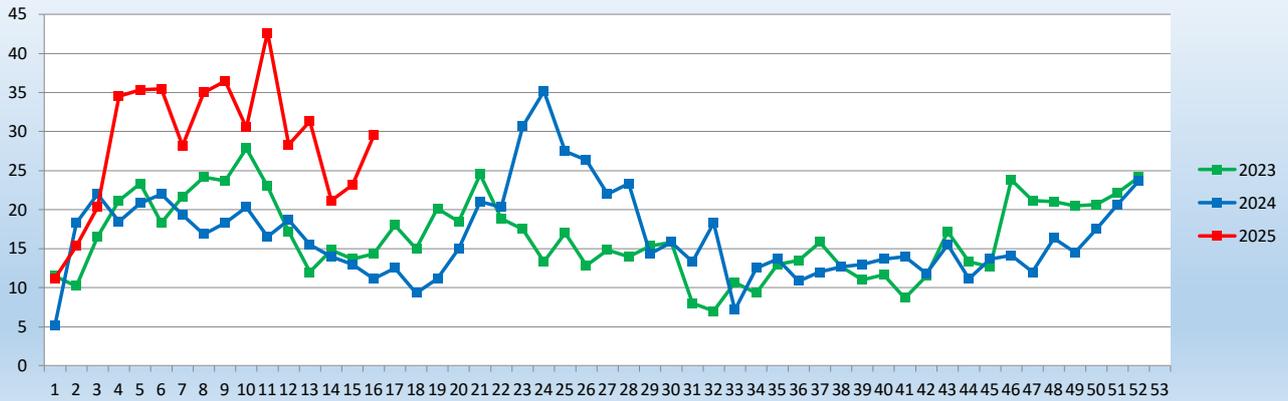
	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3
急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-
流行性角結膜炎	8.0	4.0	-

警報レベル:大きな流行が発生または継続していると疑われることを指します。

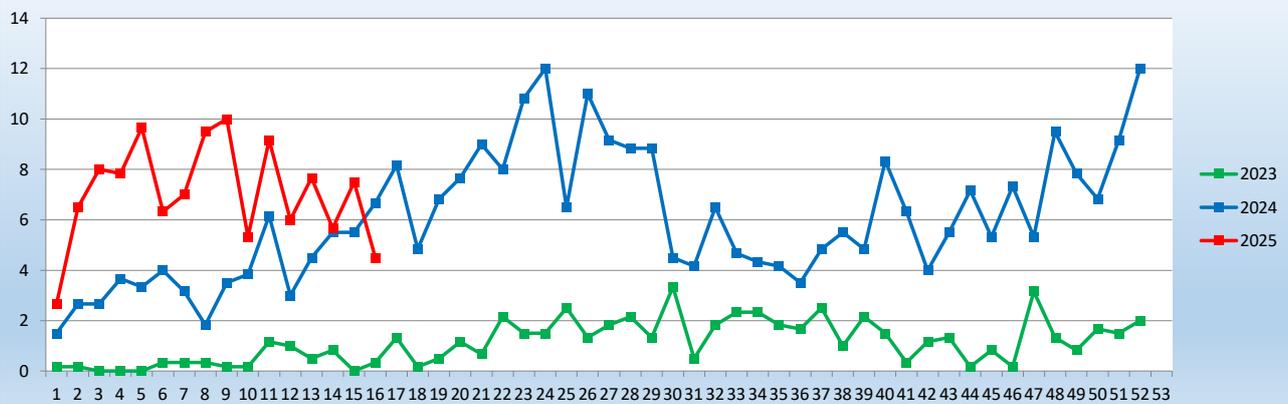
注意報レベル:流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

## 過去3年間の発生動向(別府地域)

### 定点当たり報告数 感染性胃腸炎



### 定点当たり報告数 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



### 定点当たり報告数 RSウイルス感染症

